

科目名	インターネット応用演習	
担当者	大野 隆士 / OHNO, Takashi	
科目情報	教養科目 4 群 / 選択 / 後期 / 演習 / 2 単位 / 1 年次	
科目概要	授業内容	インターネットの特徴は、従来のメディアに比べて非常に低いコストで、個人が情報を発信できることである。本講義では、インターネットを使った情報収集だけではなく、情報の発信、それによる新しい形のコミュニケーションについて解説する。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットについて簡単に説明できるようになる。</li> <li>・テキスト、静止画、動画、音声の加工ができるようになる。</li> <li>・ホームページが作成できるようになる。</li> <li>・Wiki、Blog、SNSを活用し、情報発信ができるようになる。</li> </ul>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 講義についての紹介、コンピュータの基本操作のおさらい</li> <li>(2) インターネットとWWW。ホームページ作成1 (HTML基礎)</li> <li>(3) ホームページ作成2 (HTML応用)</li> <li>(4) Twitterによるコミュニケーション1</li> <li>(5) Twitterによるコミュニケーション2</li> <li>(6) Wikiの作成1 (利用/項目作成)</li> <li>(7) Wikiの作成2 (項目作成/公開)</li> <li>(8) Blogの作成1 (基本)</li> <li>(9) Blogの作成2 (活用)</li> <li>(10) Webサービスの活用 (SNS作成/活用)</li> <li>(11) Webサービスの活用 (スケジュール管理の活用)</li> <li>(12) ホームページ作成・応用1 (CSSとXHTML)</li> <li>(13) ホームページ作成・応用2 (各種データの加工)</li> <li>(14) ホームページ作成・応用3 (課題ページ作成と公開)</li> <li>(15) 総まとめ</li> </ol>	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。</li> <li>・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。</li> </ul>
	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の課題を、(基本的に)次の回までに必ずやること。</li> </ul>
使用教材・参考文献	<p>【教】教科書は使用しない。適宜ハンドアウトを利用する。</p> <p>【参】参考文献は適宜紹介する。</p>	
成績評価方法と基準	<p>&lt;基準&gt; 「与えられた課題をただやるのではなく、その課題がより効果的にみえる解決の手段・方法を選択して利用できているか、それに付随する項目は無いか考え、その追加等ができていないか」を合否判断の基準とする。</p> <p>&lt;方法&gt; 受講態度 (30%)、課題 (30%)、試験・レポート (40%) による。</p>	
備考	インターネット演習の単位を修得済みであることが履修登録の条件である。教員が指示する『読書』課題の遂行を、受講生の成績評価に加味、あるいは成績評価を受けるための前提とする。詳細は、初回の授業で説明する。	